

児童養護施設

大村子供の家



雨に負けるな体育祭!!

九月初旬に、子供たちの通う中学校・高校で体育祭が開催されました。毎日うだるような暑さの中、「暑い。行きたくないよ〜。」と愚痴をこぼしながらも学校へ通う子どもたち。いざ体育祭の前日になると「ドキドキする。ダンス間違ったら恥ずかしい」と胸を高鳴らせながらも大会本番に向けて楽しそうに準備をし、「遅刻したら困るけん」といつもより少し早く就床する姿を見て、自分自身も子どもころは、そうだったなと青春時代をつい思い出してしまいました(笑)。

そして待ちに待った体育祭!!のはずが・・・。台風の影響により延期になる学校や、開催はしたものの二十三競技から六競技に減るところなど悪天候に振り回されましたが、子どもたちは泥だらけになりながらも一生懸命に輝く姿を見せてくれました。職員も気合いを入れて、お弁当を作りましたが、雨で体を動かしていなかった為か、お弁当の箸がなかなか進まず…。来年はこちらも量を考えてから作ろうと思えます(笑)。

今年のことごとく天候に左右されてしまいました。来年こそは全種目、全力で応援出来たらなと思います。



うちのごはん(つつじホーム)

初めまして。小学校三年生から高校二年生までの女の子七名が生活しているつつじホームです。毎日明るく元気に過ごす、つつじホームの『うちのごはん』を紹介したいと思います。

今回は、八月に行ったM姉妹の誕生会の様子です。誕生月の子ども達の為に行う誕生会では、主役の子ども達の好きな食べ物リクエストを聞いて、それを準備し、お祝いをします。こっそり催す誕生会はいつも大盛り上がりで、子どもたちの好きな曲を流しながら好きな物を食べ、最後は誕生日ケーキをいただきます!! 終始笑顔が絶えず、そんな明るいホームがつつじホームです。ホームでの食事だけでなく、外でも食事を楽しみます。八月にはキャンプに行き、テントを張って、夏を満喫。キャンプメニューの一つにチーズフォンデュを準備し、子どもたちと共に舌鼓をうちました。つつじホームでは、楽しく美味しい、そして女子ホームならではの洒落な食事作りを目指しています。



☆世界の国からこんにちは☆

Håkon Winther from Norway



Hei alle sammen (ヘイアレサメン = やあ みんな!)

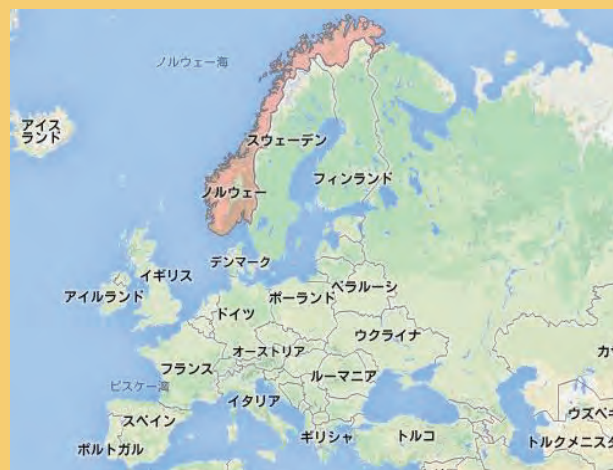
私の名前はハコンです。ノルウェーから来ました。皆さんノルウェーの人口はとても少ないって知っていますか？ 約 500 万人が住んでおり、日本の 25 分の 1 です。人口は少ないけれど、私たちは国を誇りに思っています。ノルウェーはスカンジナビア半島の一部にあり、ヨーロッパの北の端です。近くにスウェーデンやデンマークがあります。人口は少ないですが、面積は広く、縦に長いです。25000 キロも海岸線が続いています。フィヨルドという氷河に削られた場所があり、写真のように、深く切り立った山と深い海水のコントラストがきれいです。皆さんも写真で見たことがあるかもしれません。北部にはシロクマが住んでいます。幸いにも私は一度もシロクマに出会ったことはありませんが、北に住む友達をよくシロクマを見かけているそうです。恐ろしいですね。

ノルウェーはとても寒い国です。冬の時期は一面雪で覆われ、気温もマイナス 15 度近くになります。スキーが考案されたのは、ノルウェーが初めてです。ノルウェー人はスキーが大好きで、暇さえあれば山へ滑りに出かれます。「ノルウェー人はスキー板を足につけて生まれてくる」とも言われ、ウィンタースポーツが人気です（それしか勝てないからです）。私も学校に通う時、友達とスキーで滑りながら登校し、それは楽しかったです。

ノルウェーの首都はオスロと呼ばれ、国の南東に位置しています。長崎より少し大きいくらいです。オスロには大きなスキーのジャンプ台があり、博物館に行けば、大昔、バイキング（海賊）が使っていた船を見ることができます。バイキングはヨーロッパをはじめ、世界各国を船で旅し、コロンブスよりも 500 年前にアメリカ大陸を発見したと言われていています。日本人やシロクマと同じように、ノルウェー人は魚介類が大好きです。なぜなら周りでいっぱいお魚がとれるからです。特にサーモンが有名です。それではみなさんお元気で。ノルウェーでお会いできることを楽しみにしています。



フィヨルド



ご寄付・ボランティア御礼

日頃からの子どもたちに対するご支援ありがとうございます。SBI 子ども希望財団から招待いただき、8 月に東京で行われたイングリッシュキャンプに子ども 3 名、職員 1 名参加させていただきました。初めての飛行機、初めての東京でドキドキしていた子ども達ですが、すごく楽しく、また行きたいと話しています。貴重な機会をいただき、職員一同、心より感謝申し上げます。



プールでも元気いっぱい！

「感覚統合遊び」とは、遊びを通じて、次々と身体に入っていくこととする五感と固有受容覚、前庭覚などの感覚を刺激、活性化、統合するものです。簡単に言えば、遊びを通じて、生きるために必要な感覚を養っていくこと。当施設では、特に未就学児、小学生を対象に、毎年数回に分けて、この感覚統合遊びを、研修委員会を中心に、企画し実施しています。

今回は、子どもたちの夏休み期間を利用し、諫早市わいわいプールへ小学生、幼稚園生と一緒にかけてきました。今年は、例年になく猛暑日の連日・・・暑い！暑い！の一言。

水泳では前庭覚、固有覚、触覚の3つの感覚を刺激することができ、プールの水圧により皮膚への触覚が刺激され、浮力などバランスを取ろうとする力なども育まれます。また、泳がなくても、手を引いてゆらゆらと遊ぶ事で楽しく感覚統合を行う事ができます。浮力が働くプールの中では筋肉や関節の動きがより大きく、たくさん体を動かす事で固有覚も発達していきます。

ワイワイプールには、流れるプールや大きな滑り台があり、たくさんの人で賑わっており、それぞれが好きな場所で思う存分、遊び、浮き輪に浮かんで流れたり、長い滑り台を何度も滑り、満喫していた様子。子ども達から、また行きたい！との声がたくさん聞かれ、来年も計画できたらいいなあと思います。



剣道を通して学ぶこと

子供の家の子供たちが、大村剣西クラブに所属して今年の12月で3年が経ち、剣西クラブ自体が創立して55年を迎えました。所属当初は小学生4名でしたが、現在では小中学生合わせて9名、全体で16名となり週に3日子供の家の体育館で稽古に励んでいます。最初の頃は、稽古がきつかったり先生方から指導を受けたりして泣きだす子どももいましたが、今では心身共に強くなり、暑さ寒さにも負けず、少しの事でも涙を見せないようになりました。また、年間十試合以上の試合に出場し、たくさんさんの経験を積み上げているところです。稽古の最後には、剣道五訓を全員で読み上げています。「文武両道」を目指し、誰からも好かれ、感謝の気持ちを忘れない大人になってほしいです。



大村剣西クラブ 剣道五訓

「私は、礼儀を正しく嘘を言わない人間になります」
「私は、剣道に励み強い体と心をつくります」
「私は、多くの人のためになる正しい人間になります」
「私は、健康であることを父母に感謝し勉強に励みます」
「私は、兄弟助け合い友達と仲良くします」
負けてたまるか！！

放課後児童クラブ b & g おおむら オープン！

大村子供の家に新しい仲間が増えました！「b & g おおむら」が10月1日にオープン。ここは地域の小学校（富の原小学校、竹松小学校）の1年生から3年生を主に対象とし、放課後子どもたちが集う、子どもたちの居場所です。他の放課後児童クラブと違う点を3つご紹介します。

まずは、夜9時まで営業していること。昨今、夜遅くまで働かされている親御さんや、一人親家庭など、子育てと仕事の両立で大変な方のために、夜9時までオープンしています。

二つ目に、お風呂がついていること。仕事で帰りが遅くなる親御さんのために、ご希望があれば子どもがb & g おおむらでお風呂に入って帰ることができます。お友達やスタッフとわいわいお風呂に入ることも可能ですし、一人でゆっくり入っても構いません。

三つ目は、キッチンがあって夕ご飯を一緒に食べることができること。ご希望に応じて、スタッフと一緒に調理し、帰りが遅くなる子どもは、スタッフと一緒に食卓を囲んで、団欒しながら夕食を楽しみます。

b & g おおむらでは、親御さんや地域の方々と協力しながら、子どもたちの「生きる力」を育んでいきたいと考えています。子どもたちの挑戦（チャレンジ）や主体性を尊重し、成功だけでなく、失敗という大きな学びも大切にしたいと思えます。外は広いグラウンドや自然があり、自由に遊んでもらえる環境を用意しています。皆さんも是非、遊びにいらしてください。



行事予定

- 10月・・・6日 歩こう会、聖母幼稚園運動会、7日 長崎くんち招待、16日～18日 中学2年生修学旅行
- 11月・・・23日 秋まつり
- 12月・・・8日 米軍来訪、15日 九電餅つき来訪、各ホームクリスマス会、大晦日



編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われたもので、最近ではすっかり秋を感じる季節となり、彼岸花が見られるようになりました。彼岸花の花言葉は「情熱」で、花色が赤であることに由来しています。子ども達には、何事にも一生懸命・「情熱」をもって楽しく取り組んで欲しいと願っています。KM

大村子供の家 〒856-0811 長崎県大村市原口町 591 番地 2
TEL 0957-55-8319 FAX 0957-55-4661

